



「臥竜鳳雛」



*タイトルの意味は？調べてみよう

2021・3・19 第38号

学年主任 森本 聡一郎

今年度の反省に立脚し、言葉にできる抱負を持とう！

普通であることを最低限のレベルと心得よう。

その最低限のレベルをどこまで上げていくかが課題です。

1. 「当事者が体感する “傍目八目” 以上のもの」

碁の世界では「傍目八目（おかめはちもく）」という表現があります。実際に碁を打っている対局者よりも、傍（はた）で見ている者の方が良い手に気づいたり、より正しく読めることを言ったもので、第三者の方が当事者よりも冷静かつ客観的にものごとを見ることができるという意味で使われます。しかし、当事者が体感する臨場感や興奮、その中から生まれる実践心理というものこそが醍醐味であって、評論家が観念の範疇でしか理解できないのとは意味合いが違うのです。要するに、その場に居合わせて、その空気を感じる体験をした者にしか分からない部分があるということです。

卒業式で歌うはずだった校歌。生徒が大声で歌う校歌に圧倒されたり、時には戦慄さえ感じる事が何年かに一度あります。私にとってのそれは、数値で示される音量の問題ではなく、ましてや芸術的完成度の高さの問題でもなく、その場に居合わせた者のみが肌身で体感する感覚の問題なのです。卒業式の日、一生懸命に歌う3年生の校歌を聞いたかったのですが、新型コロナ感染症対策で「校歌演奏」となりました。

卒業して何十年。それでも校歌がロズさめる者が何人いるかが、その学校の値打ちではないでしょうか。実際にそのような方々が多数いるという事実をキミ達はどのように感じますか。今とは違って、入学式前の練習もなく、校歌の意味も教えられず、歌唱練習の時間もほとんどなく、ただ、始業式、終業式、体育大会そして卒業式で歌っただけの歌をいつまでも覚えているのは、それが一時的に覚えたものではなく、彼らの心に刻みこまれたものだからでしょう。結局は「思い入れ」、それに尽きるのではないのでしょうか。感動した心が覚えていることは一生の宝物です。

以前にも、2年生にとっては、もう何をしてもう一つひとつが「高校生活最後」の行事になるのだと言いましたが、その一つひとつに思い入れを込められているかどうかで、キミ達の人生の思い出の数が全然違ってきます。反対に、何も思い出せないような時間が多い人生にどれほどの価値があるのでしょうか。高校生活に限って言えば、キミ達には幸いなことに、心に刻める時間がまだ1年あります。

どうか「思い入れ」というものをもっともっと大切にしてください。夢中になって何かをして、自然と涙が湧いてくるほどの感動を体感してください。



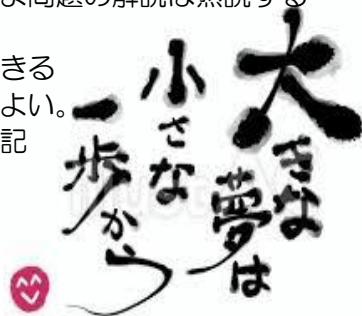
2. 「次に進むためにしておくべきこと」

共通テストを終えたばかりの3年生からのメッセージ

- 英単語はしっかり覚えたほうがよい。覚えているのと覚えていないのとでは長文の読み具合が全く違う。受験前には本当に時間がないので、早めにやっておくほうがよい。
- 勉強は掛け算ではなく、足し算。
- 部活動をしている人は、焦らなくても最後までやり切ったほうが、絶対受験では良い方向に傾く。習慣的に行動する癖がつく。リスニングは内容を覚えている字幕なしの映画がおすすめ。2年生のこの時期にして英語を聞く癖がつき、会話表現も憶えた。
- 学校の授業内容を理解しておく、試験前に焦らなくても済む。当たり前のことだが、このあたり前を当たり前にするには想像以上に難しい。
- 先生や先輩の助言は素直に聞き入れる。英単語の力をなめない。
- 大学に合格するのに必要なのは学力でもましてや今の君の偏差値でもない。すべては努力で決まる。夏休みは1日15時間勉強した。
- 大体の先輩が「英単ぐらいやっつけ」っていうし、共通テストを控えたほとんどの受験生が「英単ぐらいやっつけばよかった」って11月ぐらいから言い出す。お前らも絶対に言い出す。後悔したくなければ最低限“英単”はやっつけ！
- 毎日学校に来ること。これが一番大切だと思います。友達と一緒に勉強したりして、家で参考書とにらめっこするより、学校の授業で先生の話聞くことです。
- 小テスト、毎回合格していますか？ 朝見て受かればいいやって考えでは、受験勉強なんてできないと思います。部活が忙しくて、家に帰ったら疲れて寝てしまうのは仕方ないと思います。でも、小テストの勉強や週末課題、予習ぐらいきちんと取り組む時間は必ずあると思います。3時間ダラダラ過ごすのなら、そのうち2時間を勉強に変えてみたらどうですか。最初から勉強を集中してやり続けることは難しいとは思いますが、だんだん慣れて集中できる時間は増えてきます。早い時期から机の前に座る癖をつけたほうが良いと思います。
- 「自分は今のままでは合格できない。まだまだ頑張らないといけない」と謙虚な姿勢を持つことです。
- 「やれば出来る」はやらないのと同じ。後悔したくなければ早く変わることを。
- 私立文系の方は、3教科だから夏休みからでいいよとか、春休みは遊んでいたいという考えは止めておくべき。そんなんで難関私学に合格できるほど受験は甘くありません。
- 周りの環境は大切です。私の周りは意識が高くて上を目指して頑張っている人がたくさんいたので、大いに触発されて自分も頑張ることができました。やる気のない雰囲気身を置けば、きっと頑張れていなかったと思います。
- 部活を頑張れない人は、勉強もきっと頑張れないと思います。
- 継続的な勉強が大事。10時間勉強しても1日限りでは実力にならない。30分でもいいから毎日勉強すること。英語・古典は音読が必要。口に出せないものは基本的に読めない（身につけていない）と考えること。また、どの教科にせよ問題の解説は熟読することが大切。
- まじめに勉強して本当に損はない。3年になってからも勉強できる時間はあるけれども、その時間では足りないと思っていた方がよい。また、勉強の成果が出るのは思っているより遅いから、特に暗記ものは自分のペースで始めておくのが良い。

「無理 → 妥協 → 満足」は三大禁句

天性だけでやっている者は、壁にぶつかるたびに諦めてしまう。



3. 「4月の行事予定」

4月	8日(木)	大掃除・着任式・始業式 8:35までに2年時のHR教室に登校。始業式後、旧クラスにて新クラス発表 → 新クラスに移動後HR ※午後入学式
	9日(金)	課題考査(1限~4限)・離任式(午後)
	12日(月)	対面式・部活動紹介・情報教育講演会(3限)・身体計測(午後)
	23日(金)	2・3年遠足
	28日(水)	進路別講演会(午後)

※提出物の確認(当たり前のことを、しっかりやり切る)

●始業式提出物

- ①春休み学習計画表

●課題考査後提出物

- ①国語・英語・数学・理科・地歴の課題

23日は1年の卒業式。遅刻・欠席のないように！